

まだ遅くない

葉月一郎

え・小西保文

(題字も)



亀裂のとき

嵐が去った。

潮のひくように、それは汚れきった部屋から消えていった。

戸波は、いや、亞紀子も、意志のない人形のように並んで横たわっていた。

二人とも、天井へ視線を送っている。が、なにも見ていない。

しらけた、ザラザラした沈黙が部屋を占領してから、もう何十分たつだろうか。時は容赦なく刻まれているのに、それだけは居すわったまま震んでいる……。

(これが、幕切れの儀式だったのだ)

からっぽの頭で、戸波はふと思う。

乱暴な儀式だった。予想もされなかつた終章である。

次の幕が決して聞いてくれない、文字通りのファイナ

いた。

そつと視線を横に移す。

手の届くところに亞紀子がいた。

もぎとられ、ひきちぎられた衣装のままで横たわっている。

(あらすじ) 神戸に君臨する大企業、兵庫製鉄(兵鉄)の公告をなくすと、毎朝新聞神戸支局の石津支局長がキャンペーン企画、取材をすめていた。昭和四十五年秋のことだ。仕事への情熱を失い、バーの女ユカとの情事におぼれていた戸波俊記者も、十年のキャリアを買われて参加する。たまたま醉客にからまれているところを助けてやった兵鉄秘書課の細川亞紀子と親しくなり、亞紀子は会社首脳の新聞社対策などをそのつど戸波に知らせて協力する。ある夜、二人は六甲山のホテルへ泊るが、体は結ばれないまま一夜をともにする。亞紀子の兄も記者たつたが誤報事件のワナにかけられて自殺したと告白する。

兵鉄の花房総務部長らは一人の関係をかきつけ、亞紀子を工場勤務へと配置がえされる。新聞社にも記事とりやめの申し入れをしたらしく、支局長や泉田次長らは本社へ喰問され、キャンペーンは掲載面前に中止と決まる。

傷心の戸波は、その後、亞紀子がひそかにアパート暮らしをしていることを知り、疑惑を深める。真相のつかぬまま酒に溺れた戸波の帰宅を待っていたのは亞紀子だった。彼女はキャンペーン中止の理由を問い合わせ、「新聞記者はキライ」と叫ぶ。戸波は激情の中で亞紀子を抱き、なかば暴力的に侵してしまう。

抵抗をやめたとき、涙が頬を伝つた。戸波を受け入れ

はしたが、決して許してはいなかつた。いっさいの情感をとり払つた丸太棒のような肉体でしかなかつた。

それは、最大の拒絶であつたろう。

嫌悪と憎しみをあらわす、最も適切な方法だつたともいえる。

そして、いまも、沈黙という形の怒り——。

たまりかねたように口を切つたのは、戸波の方だつた。

「わるかつた。済まない」

返事はなかつた。

表情も全く動かない。

それが、少しずつ戸波をいらだたせた。

「許してくれる、とは思つてゐない。でも、わかつてほしい。好きや。いまも、好きや」

寝転がつたままで、にじり寄る。ささやくようにつづける。

「どうしようもなかつたんや、ああするよりほかに、何といふか、自分の気持をぶつつける方法がなかつたんや」

それは事実だつた。そうとしか、いいようがなかつた。

行為のあと、ひたひたと毛穴からわき出てくる後悔の念のなかで、戸波が懸命に整理した心情とでもいおうか。

だが、亜紀子の反応はない。

ただ、ひたすら押し黙つてゐる。それが最大の制裁であるとでもいうように。

言葉が、なくなつた。

同じことを繰返す以外に、胸の底を告げる方法がない。

思い余つて、そつと腕をのばす。

裸に近い女の胸を抱き寄せようとする。

それでも、亜紀子は意志を見せなかつた。さからわな

い。かといって、応じるわけでもない。

まるで、路傍の電柱に語りかけ、抱きついている、そんなピエロに似た自身に、戸波は気がつく。

ダメ男、卑劣な男、落伍者、敗残兵、やけっぱち、

それからし……いくつかのレッテルを、ピエロの上に貼りつけてみる。

「新聞記者なんて、みんな、きれい」

その叫びが、思えば亜紀子のことばの終りだつた。

(きらいでもいい。何かいってくれ)

それとタイミングを合わせるように、ドアをノックする音が聞こえた。

コツ、コツ、コツ

低く、遠慮深げな音である。それは、もう一度、繰り返された。

反射的に、腕時計をみる。

午前三時に近い。

(たれだ。こんな真夜中に……)

起き上がりうとして、自分の姿に気が付く。上はシャツだけ、下半身は裸に近い。

亜紀子の表情が、はじめて動いた。眼が、来客を拒否するように語りかけている。

肯いた。

ノックの音が、今度は、やや強さを増す。

「戸波さん、戸波さん」

男の声である。

寝ているのなら、起こしてやるぞという意志をもつて、ノックの音も一層激しくなる。

「戸波さん」

三度目で、その声の主を思い出した。

明らかに、八木沢記者のものである。

呼び出しに違いない。

大きな突発事件のとき、原稿の問い合わせのとき、そのほか、さまざまな必要が生じたとき、新聞記者の世界

では「呼び出し」をするのが常識である。

だから、会社を出たあとも、できるだけ居所を明らかにしておくことを要求される。

いわば、警官と同じように、外勤記者の場合は二十四時間勤務といえるだろう。

肺臓の奥に響くようなノックの音を聞きながら、しかし、戸波は、逆に体を再び横たえていた。

もう俺は、呼び出したり呼び出されたりする世界とは縁切りにしたい。そんなことに情熱を燃やす価値がある世界にあるとは思えない……。

(いいのかい、それで――)。こんな夜更けに来るほどだから、かなり重要な連絡じゃないのかな)

心の中で、そう問い合わせる声もないではない。だが、それも一瞬に消えた。

(そうだ。もう、こんな仕事は、やめてしまおう)

新聞記者への訣別――。

それは、あの堂本俊夫の判決原稿を書いたころ、胸いっぱいに広がっていた決意で

あった。

その決意が崩れたのは、支局長によって、兵庫製鉄の公害キャンペーンチームへ誘い打ちをかけるように堂本の死。そして、亜紀子に対するなれば暴力的な行為――。

だが、いまや、そのキャベンジもつぶれて果てた。追いかまれたからにはかならない。

自嘲が、まるで決壊した河の泥水のように押し寄せてくる：

「済まなかつた」

あらためて、詫びる。

だが、亜紀子は応えない。表情も、元の硬さにもどつて

いる。

そのまま素早く身仕度する



とうとう諦めたのだろうか、ノックの音は止まつた。人の気配も去つた。

この一ヶ月、公害取材の苦しみをともにした八木沢記者。その一步ずつ立去つてゆく後ろ姿が、チラと脳裏をかすめる。

(あれも、これも、終りだな)

夜氣が、ひときわきびしくなつた。

「寒いわ」

いつの間にか上半身を起こしていった亜紀子が、首をすくめて急に口をひらいた。

「ね、あなたのスポーツシャツか、カッターでもいいわ、一枚、貸して頂戴」

引き裂かれたグラウスを戸波に示すと、亜紀子は(あなたが破つたせいよ。代りがいるの)と、目で語りかけた。

その、ひとこまの仕草だけで、戸波はホッと救われた思いである。とにかく、一言でも言葉をかけてくれたのだから……。

いそいそと、待ちかねたように立上がつた。整理ダンスをかきまわす。クリーニング屋から戻ってきたまま一年あまりも手を通さなかつた黒地のシャツを出す。

「これ、着てくれる?」

無難作に受けとると、亜紀子はそれを頭からかぶつた。肌の白さが、黒のタートルネックで一層ひきたつたみえた。

「済まなかつた」

あらためて、詫びる。

だが、亜紀子は応えない。表情も、元の硬さにもどつて

いる。

そのまま素早く身仕度する

つかんだ。足早に戸口へ急ぐ。

「待つてくれ」

「さよなら」

二つの短かい言葉が、同時に出て

た。ぶつかって、碎けた。

「こんな夜中に、君、どうして……」

未練気な戸波の声を、女の背中が

はね返す。ドアをしめる音が、夜氣を破る。

埃っぽい部屋に、半裸の、ふざまな男がひとり、取り残された。そして、引き裂かれた女の

ブランプスが——。

その裂け目は、ふたりの心の亀裂を示すように、なまなましく、歪んでみえた。

あくる日の夕方――。

戸波は神戸支局の階段をゆっくり上がつていった。

内ポケットの封書が、一段あがることにカサカサと音

を立てた。

「一身上ノ都合ニヨリ、退職シマス」

封書の中身は、出がけに便箋にしたためた辞表である。

会社をやめて、何をしようというアテがあるわけではない。だが、いまは一刻も早く、この世界を離れたい。

そんな想いが辞表につながつた、というべきだろう。

もともと、情熱は失っていた。そして、こんどの、たとえようもない挫折感。それが、戦線離脱へと拍車をかけたようである。

出がけに、ドアのすき間から投げこまれたメモ用紙をみつけた。

「緊急の打合わせ事項があります。これを見たら、すぐ支局へ連絡して下さい」と走り書きがあつた。

八木沢記者の署名が添えられている。

「打合せ」の中身が何なのか、それをセンサクする気持さえ起らない。

泥のような疲労と二日酔いの頭では、考える余裕さえなかつたのである。

支局はガランとしていた。

支局長の姿もみえない。泉田次長も気配がない。

地方版デスクの、ひまそな生アクリビをチラと横目でみながら、戸波は自分の席についた。黙つて、引出しの中の整理をはじめた。

五年間、親しんだ机である。ここで、いくつかの特ダネを書いた。原稿の結びの、たつた一行の表現に頭を悩まして、一晩中、苦吟したこともある。ちょっとした油断から他社に出しゆみかれて、無念の想いをかみしめたのも、この席だった。

だが、そうした感傷を暖める余地もないほど心は冷えていた。もう一ヶ月も前から予定した行為のように、引出しの片付けは淡々と進んでいった。

「あ、戸波さん」

呼び声に振り向くと、八木沢が立つていた。

「どうしてたんです。搜してたんですよ」

「…………」

「メモ、みてくれましたか」

あいまいに肯くのを認めるとき、八木沢はせきこんだよ

いわば居留守を使つて、ムダ足を踏ませた八木沢の残していった伝言メモである。

ふと、心が痛んだ。だが、それも一瞬に消えた。

ふと、心が痛んだ。



うにいった。

「巻き返しですよ、戸波さん。とにかく、何としてでも、あの原稿は、陽の目をみるようにならわん。とにかく、本社へもう一度アピールしようということになりましたね……」

病院で堂本の死に直面しているころ、八木沢たち数人は残念会のつもりで三宮のスナックで杯を重ねていた。

そこで、巻き返しの話が飛び出たのだという。

「非合法というか、まあ、うちの新聞以外の場で、いろんな形で活字にするのは二の次だ。それよりも、何とか本来の紙面で実現するように、職制を抜きにしても、再交渉すべきだ、というのが大勢を占めたわけですよ」酒の勢い、ばかりではない。

緊急部会といつた公式的席を通り抜けたあとで、はじめて本音論が出たのも当然かもしれない。

松岡、海野、八木沢、それに木曾——いわば「七人の侍」の主力記者たちが、こぞって強硬論に固まつた。中止の理由を公開質問状のような形にして編集局長室に問い合わせた。『密室』で行なわれてきたやりとりを、それによって公式の場へ引き出す。

拒否されたら、労組の問題、ひいては表現の自由制限といった形での論議に持ちこんで、全社員にアピールしてゆく……。

「穏当な手段とはいえないかもしだれないと、筋を通しながら押しの一手でやってみよう。みんな、そういうふんです」

八木沢は、この男に似ず興奮気味に説明した。

「それで、いつ、それをやるんや」

「いや、戸波さんにも加わつてもらおうと、待っていた

から、遅くなつたんです。いずれにしても、あす中に本社へ行きます」

本当にやる気だな——そう思われる意志力が、八木沢の眼鏡の奥に見えた。

「君、君は大体、慎重論じやなかつたのかね」

「戸波さん。いま、そんなこと、いつてる場合じやないでしょ？」

叱責に似た口調だった。

「支局長は、どうしてる」

「病氣らしいんです。きょうは来てません。しかし、今度のことは支局長抜きでやつてることです。その人とは関係ないんですよ」

八木沢のことばに、かすかな敵意が読みとれた。この「優等生」は、指揮官が独断で屈服したこと、思わず血気を表面に出してきたようである。

戸波は、急に自分がひどくみすぼらしく見えた。八木沢たちの持つている若さ、一途さが羨ましく見えた。八木沢たちの持つている若さ、一途さが羨ましく見えた。八木沢たちの持つている若さ、一途さが羨ましく見えた。八木沢たちの持つている若さ、一途さが羨ましく見えた。

だが、だからといって、この青年たちと行動をともにする気持には到底なれない。

それは、新聞社という機構の中で、正確に階段を一段ずつ昇つてゆく者と、階段の踊り場でくわえ煙草をしている者との差なのかもしれない。

戸波は、その階段をひたむきに昇つていた。社会部記者時代、タクシー汚職事件の取材に当たつていたころを思い出す。疑惑の代議士を問いつめて聞き出した話を記事にしたら、激しい訂正要求が来た。そんな発言はしていない……。

(あのときも、会社はおれをかばつてくれなかつた)

その結果、彼は神戸支局へと転勤させられたのである。

「八木沢君、わるいけど、おれ、君らと行動をともにしないよ」

なぜですか——問い合わせをする八木沢の鼻先へ、内ポケットから出した封書をつきつける。

「これ、支局長に渡しておいてくれんか」

表書きの「退職願」の三字が、黒々と踊つてみえた。

(つづく)

talk and talk



★神戸っ子愛読者サロン

★「神戸っ子」編集室のみなさん。
神戸まつり、大変に苦労でした。

小生、島根県に住む、ある新聞社の報道写真のサークルに属するアマ

神戸まつり、大変に苦労でした。

鶴の父祖の地、奈良県は吉野の山中

（第8）の案内です。古き良き神戸、「新

しき活気に満ちた神戸」を数日に渡

って撮能したのです。

以来、すっかり「神戸」のファン

となり、本年も、カメラを肩に、もう一度無形の神戸を訪れたのでした。

そのたびに、『神戸っ子』（鶴）の

案内に必ず訪れるのが、中山手通り

にある、にしむら。

先日（5月10日）も、いつもの

ように訪れた、にしむら。で、バー

ポンの香りを楽しみながら、濃厚な

カツチチーノの味を堪能した後、ふ

と買い求めた月刊『神戸っ子』

特集神戸まつりの記事に、今回

の私の旅行も、神戸まつりに合せれ

ばよかっただと後悔しています。

さっそく、六月号より『神戸っ

子』の愛読者の一人に加えていただ

きたく、こうやってお便りした次第

ですが、来年の神戸まつりには見

るアホーではなく、サンバ熱跳りに

なっています。そして主人も今や愛読者

になつて、これからのは主人が神

本物の神戸っ子をアツといわせよう

かな。

それとも、フリー・バザールに参加し、自分が撮った本州最後のSL「さよなら石州号」の写真を、街頭でパネル張りしながら売ったら、たとえ売れても、売れないともとても楽しいだろう……等と勝手な夢を発展させています。

それで、月刊『神戸っ子』のますますのご発展をほるかに祈ります。

（島根県山陽国策ベルア宅）

田宮 幹夫写真も

★前略ご免下さいます。
さとCOOLな面との調和を心から愛しております。益々貴社が発展されます様お祈り上げます。

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

KOBE の言葉の響きの暖かさとCOOLな面との調和を心から愛しております。益々貴社が発展されます様お祈り上げます。

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

B/E は水色の空デス。（編集部）

★札幌市を、通称と呼ぶのは北海道人。住んでいる街は、やはりヒキ

にしているものの、人口一〇〇万を超すと、リトル東京、住みにくく。ラ

イック、すじじ、シニャモ、ズス

ラン、時計台に熊の彫りもの。今はいい季節。（札幌市 棚本木）

☆札幌親百点送り下さってありがと

う。鈴蘭の香りがいっぽい！（M）

★札幌は緑の夏。本日、日中25℃

50男。下脱一モノバッサン

（札幌市 棚本木）

酒こそ生き甲斐。娘子ファン

エッセー）山藤草二 大好き。もう笑

るよな毎日ですが編集室の皆様に

お元気で御活躍のことと存じま

す。（編集部）

★曆の上でも梅雨に入り、気の滅入

るやせひぜひ来年の神戸まつりは晴ら

すよソソンソソンと、サンバを踊ってオ

チココチヨイ神戸を楽しんでください。

（編集部）

☆大坂の病氣は神戸で直る……

（編集部）

★破乱万丈な戦前、そして混戦の後を通り抜けた今日。この神戸は大きき門戸が開かれたり。世界各國の人々に日本の土地名のアンケートをしたときはには今さらながら驚きました。一番は「キャビタル」東京、二番はなんと「エドランゼ」神戸が上つてしましました。次いで横浜、長崎、広島、大阪、京都……私も生涯この神戸をもつてエドランゼに知つらいたい。特に将来日本の中へ心になる街。他の土地にはないづく抜けた明るい土地柄と風情ある街を……。

（大阪府 市長田区・眞野 弘二）

（編集部）

★リビエラによく似た感じがしませんか。誰の人との見かいかなく手を取り合つて「サンバ」の姿が神戸の發展の姿の原点であると確信します。ダンスをやり歌を口ずさみながら大きく胸を張つて歩ける街は神戸しかないのでしょう。「おちよこちよい神戸人」のために、お互に頑張りましょう。

（南仏の「モンテカルロ」そして

リビエラ）

せんか。誰の人との見かいかなく手を取

り合つて「サンバ」の姿が神戸の發展の姿の原点であると確

信します。ダンスをやり歌を口ずさ

みながら大きく胸を張つて歩ける街

は神戸しかないのでしょう。「おちよ

こちよい神戸人」のために、お互

に頑張りましょう。

（福島県郡山市・高橋一也）

★神戸まつりによせて――と長いお手紙を頂きました。みなさんのお便りお待ちしています。（編集部）

それでも、フリー・バザールに参加し、自分が撮った本州最後のSL「さよなら石州号」の写真を、街頭でパネル張りしながら売つたら、たとえ売れても、売れないともとても楽しいだろう……等と勝手な夢を発展させています。

それで、月刊『神戸っ子』のますますのご発展をほるかに祈ります。

（島根県山陽国策ベルア宅）

田宮 幹夫写真も

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

★前略ご免下さいます。

毎回楽しく拝見させていただいております。北国の空の下ではちょっと感じられない底めに明るい気質みですね。

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

KOBE の言葉の響きの暖かさとCOOLな面との調和を心から愛しております。益々貴社が発展されます様お祈り上げます。

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

☆どういわゆる梅雨の空で、KOB

E は水色の空デス。（編集部）

★札幌市を、通称と呼ぶのは北海道人。住んでいる街は、やはりヒキ

にしているものの、人口一〇〇万を超すと、リトル東京、住みにくく。ラ

イック、すじじ、シニャモ、ズス

ラン、時計台に熊の彫りもの。今はいい季節。（札幌市 棚本木）

☆札幌親百点送り下さってありがと

う。鈴蘭の香りがいっぽい！（M）

★札幌は緑の夏。本日、日中25℃

50男。下脱一モノバッサン

（札幌市 棚本木）

酒こそ生き甲斐。娘子ファン

エッセー）山藤草二 大好き。もう笑

るよな毎日ですが編集室の皆様に

お元気で御活躍のことと存じま

す。（編集部）

★大坂の病氣は神戸で直る……

（編集部）

★破乱万丈な戦前、そして混戦の後を通り抜けた今日。この神戸は大きき門戸が開かれたり。世界各國の人々に日本の土地名のアンケートをしたときはには今さらながら驚きました。一番は「キャビタル」東京、二番はなんと「エドランゼ」神戸が上つてしましました。次いで横浜、長崎、広島、大阪、京都……私も生涯この神戸をもつてエドランゼに知つらいたい。特に将来日本の中へ心になる街。他の土地にはないづく抜けた明るい土地柄と風情ある街を……。

（大阪府 市長田区・眞野 弘二）

（編集部）

★リビエラによく似た感じがしませんか。誰の人との見かいかなく手を取

り合つて「サンバ」の姿が神戸の發展の姿の原点であると確

信します。ダンスをやり歌を口ずさ

みながら大きく胸を張つて歩ける街

は神戸しかないのでしょう。「おちよ

こちよい神戸人」のために、お互

に頑張りましょう。

（福島県郡山市・高橋一也）

★神戸まつりによせて――と長いお手紙を頂きました。みなさんのお便りお待ちしています。（編集部）

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

KOBE の言葉の響きの暖かさとCOOLな面との調和を心から愛しております。益々貴社が発展されます様お祈り上げます。

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

☆どういわゆる梅雨の空で、KOB

E は水色の空デス。（編集部）

★札幌市を、通称と呼ぶのは北海道人。住んでいる街は、やはりヒキ

にしているものの、人口一〇〇万を超すと、リトル東京、住みにくく。ラ

イック、すじじ、シニャモ、ズス

ラン、時計台に熊の彫りもの。今はいい季節。（札幌市 棚本木）

☆札幌親百点送り下さってありがと

う。鈴蘭の香りがいっぽい！（M）

★札幌は緑の夏。本日、日中25℃

50男。下脱一モノバッサン

（札幌市 棚本木）

酒こそ生き甲斐。娘子ファン

エッセー）山藤草二 大好き。もう笑

るよな毎日ですが編集室の皆様に

お元気で御活躍のことと存じま

す。（編集部）

★大坂の病氣は神戸で直る……

（編集部）

★破乱万丈な戦前、そして混戦の後を通り抜けた今日。この神戸は大きき門戸が開かれたり。世界各國の人々に日本の土地名のアンケートをしたときはには今さらながら驚きました。一番は「キャビタル」東京、二番はなんと「エドランゼ」神戸が上つてしましました。次いで横浜、長崎、広島、大阪、京都……私も生涯この神戸をもつてエドランゼに知つらいたい。特に将来日本の中へ心になる街。他の土地にはないづく抜けた明るい土地柄と風情ある街を……。

（大阪府 市長田区・眞野 弘二）

（編集部）

★リビエラによく似た感じがしませんか。誰の人との見かいかなく手を取

り合つて「サンバ」の姿が神戸の發展の姿の原点であると確

信します。ダンスをやり歌を口ずさ

みながら大きく胸を張つて歩ける街

は神戸しかないのでしょう。「おちよ

こちよい神戸人」のために、お互

に頑張りましょう。

（福島県郡山市・高橋一也）

★神戸まつりによせて――と長いお手紙を頂きました。みなさんのお便りお待ちしています。（編集部）

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

KOBE の言葉の響きの暖かさとCOOLな面との調和を心から愛しております。益々貴社が発展されます様お祈り上げます。

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

☆どういわゆる梅雨の空で、KOB

E は水色の空デス。（編集部）

★札幌市を、通称と呼ぶのは北海道人。住んでいる街は、やはりヒキ

にしているものの、人口一〇〇万を超すと、リトル東京、住みにくく。ラ

イック、すじじ、シニャモ、ズス

ラン、時計台に熊の彫りもの。今はいい季節。（札幌市 棚本木）

☆札幌親百点送り下さってありがと

う。鈴蘭の香りがいっぽい！（M）

★札幌は緑の夏。本日、日中25℃

50男。下脱一モノバッサン

（札幌市 棚本木）

酒こそ生き甲斐。娘子ファン

エッセー）山藤草二 大好き。もう笑

るよな毎日ですが編集室の皆様に

お元気で御活躍のことと存じま

す。（編集部）

★大坂の病氣は神戸で直る……

（編集部）

★破乱万丈な戦前、そして混戦の後を通り抜けた今日。この神戸は大きき門戸が開かれたり。世界各國の人々に日本の土地名のアンケートをしたときはには今さらながら驚きました。一番は「キャビタル」東京、二番はなんと「エドランゼ」神戸が上つてしましました。次いで横浜、長崎、広島、大阪、京都……私も生涯この神戸をもつてエドランゼに知つらいたい。特に将来日本の中へ心になる街。他の土地にはないづく抜けた明るい土地柄と風情ある街を……。

（大阪府 市長田区・眞野 弘二）

（編集部）

★リビエラによく似た感じがしませんか。誰の人との見かいかなく手を取

り合つて「サンバ」の姿が神戸の發展の姿の原点であると確

信します。ダンスをやり歌を口ずさ

みながら大きく胸を張つて歩ける街

は神戸しかないのでしょう。「おちよ

こちよい神戸人」のために、お互

に頑張りましょう。

（福島県郡山市・高橋一也）

★神戸まつりによせて――と長いお手紙を頂きました。みなさんのお便りお待ちしています。（編集部）

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

KOBE の言葉の響きの暖かさとCOOLな面との調和を心から愛しております。益々貴社が発展されます様お祈り上げます。

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

☆どういわゆる梅雨の空で、KOB

E は水色の空デス。（編集部）

★札幌市を、通称と呼ぶのは北海道人。住んでいる街は、やはりヒキ

にしているものの、人口一〇〇万を超すと、リトル東京、住みにくく。ラ

イック、すじじ、シニャモ、ズス

ラン、時計台に熊の彫りもの。今はいい季節。（札幌市 棚本木）

☆札幌親百点送り下さってありがと

う。鈴蘭の香りがいっぽい！（M）

★札幌は緑の夏。本日、日中25℃

50男。下脱一モノバッサン

（札幌市 棚本木）

酒こそ生き甲斐。娘子ファン

エッセー）山藤草二 大好き。もう笑

るよな毎日ですが編集室の皆様に

お元気で御活躍のことと存じま

す。（編集部）

★大坂の病氣は神戸で直る……

（編集部）

★破乱万丈な戦前、そして混戦の後を通り抜けた今日。この神戸は大きき門戸が開かれたり。世界各國の人々に日本の土地名のアンケートをしたときはには今さらながら驚きました。一番は「キャビタル」東京、二番はなんと「エドランゼ」神戸が上つてしましました。次いで横浜、長崎、広島、大阪、京都……私も生涯この神戸をもつてエドランゼに知つらいたい。特に将来日本の中へ心になる街。他の土地にはないづく抜けた明るい土地柄と風情ある街を……。

（大阪府 市長田区・眞野 弘二）

（編集部）

★リビエラによく似た感じがしませんか。誰の人との見かいかなく手を取

り合つて「サンバ」の姿が神戸の發展の姿の原点であると確

信します。ダンスをやり歌を口ずさ

みながら大きく胸を張つて歩ける街

は神戸しかないのでしょう。「おちよ

こちよい神戸人」のために、お互

に頑張りましょう。

（福島県郡山市・高橋一也）

★神戸まつりによせて――と長いお手紙を頂きました。みなさんのお便りお待ちしています。（編集部）

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

KOBE の言葉の響きの暖かさとCOOLな面との調和を心から愛しております。益々貴社が発展されます様お祈り上げます。

（福島県西白河郡 佐藤栄一）

☆どういわゆる梅雨の空で、KOB

E は水色の空デス。（編集部）

★札幌市を、通称と呼ぶのは北海道人。住んでいる街は、やはりヒキ

にしているものの、人口一〇〇万を超すと、リトル東京、住みにくく。ラ

イック、すじじ、シニャモ、ズス

ラン、時計台に熊の彫りもの。今はいい季節。（札幌市 棚本木）

☆札幌親百点送り下さってありがと

う。鈴蘭の香りがいっぽい！（M）

★札幌は緑の夏。本日、日中25℃

50男。下脱一モノバッサン

（札幌市 棚本木）

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
神戸市兵庫区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食くれない
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かつばう 花くま
神戸市生田区花隅町45
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび 悟味酉
神戸市生田区北長狭通1-20 TEL 331-3848
三宮さんちがタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび
鍋もの ふる里
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼たちはばな
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 蝦夷
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 婆娑羅(ばさら)
神戸市生田区北長狭通1丁目118
三宮阪急西口北側レンジボーラザ1・2F
TEL 321-6363

天プラハウス 美術喫茶 瀬戸
神戸市生田区山本通3丁目27の9
瀬戸ビル1F TEL 221-6548

★西洋料理

レストラン アボロン
神戸市兵庫区八幡通5丁目6
TEL 251-3231

レストラン 皮(あらかわ)
神戸市生田区山手2-9
TEL 221-8547・231-3315

GALLERY & STEAK HOUSE SAN-MON 三門
神戸市生田区中山手通二丁目99
TEL 331-5817

ステーキハウス れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

レストラン セントジョージ
神戸市生田区北野町1丁目130
TEL 242-1234

レストラン

男爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード役所前
TEL 251-2109

鉄板グリル きやんどる
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183

レストラン キングスアームズ
神戸市兵庫区磯辺通4-61
TEL 221-3774

居酒屋風 井戸のある家
生田新道新世紀南
TEL 331-5664

レストラン ムーンライト
三宮・生田新道
TEL 331-9554

串かつ店 和蘭陀屋
三宮相互タクシー北入
TEL 321-0230

グリル・鉄板焼 月
神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 331-2509

BARBECUE & STEAK 六段
生田区元町通3丁目
TEL 331-2108

レストラン スイスシャレー
神戸市生田区北野町3丁目48アニルドマンション1F
TEL 221-4343

レストラン ハイウェイ
神戸市生田区下山手2-20
TEL 331-7622

ピッツアハウス ピノッキオ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン フック東店
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207

ピザ&スパゲティ ガルの店
兵庫区琴緑町5丁目1-7
西山ビル1F TEL 241-9025

ステーキハウス グリル青山
神戸市生田区中山手通2丁目12-2
(トアロード) TEL 391-4858

ピザ・パブ ピザ・パテオ
神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)
TEL 331-9378

ナイトラン 火の鳥
神戸市生田区中山手通1丁目27
TEL 242-1330

RESTAURANT & BAR ゴックスタッド
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ小料理亭 ティファーナ
神戸市生田区中山手通1丁目4ノ12 バルコボラスピル1F
TEL 242-0043

ステーキ&ドリンク コーベ・ローレライ
神戸市生田区中山手通2丁目39の36
TEL 241-3739

★喫茶

宮水の コーヒーにしむら珈琲店
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872・231-9524

センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669
北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶 ガーデニア
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F
TEL 321-5114

珈琲モーツアルト
神戸市生田区山本通2丁目98グランドマーチンション1F
TEL 241-3961

ディー&スナック サボテン
神戸市生田区中山手通2丁目 (神戸女子短大前) TEL 241-7060

club 千
神戸市生田区下山手通り2丁目21
TEL 391-1077

club 飛
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627

club 小
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

club さち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

club なぎさ
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

club 蘿^フき
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515
くらぶ ぶ一げん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

club Moon Light
BAR TEL 331-0886・391-2696
Club TEL 331-0-15-7

クラブ るふらん
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854
★STAND & SNACK
ドリンク & レストラン
ベルビュ・ドール
神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2F
TEL 321-5677

スタンド 英国屋
生田区下山手通2丁目8の6 相互タクシー横
TEL 331-1100-331-6600

洋酒ハウス 雜貨屋
生田区下山手通2丁目8の6
(生田新道相互タクシー横上) TEL 321-0260

スタンド グラムール
生田筋尾ビル地階 TEL 331-4637

S N A C K MATSUMOTO
神戸市生田区中山手通1丁目32-3
剪根ビル1F TEL 241-5470

カクテルラウンジ サヴォイ
高槻山側 テキの店北
TEL 331-2615

DRINKING IS AN ART OF LIFE ウッドハウス
神戸市生田区下山手通1丁目32
PHONE 078-241-7320

スナック ビジービー
神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582

居酒屋 ボルドー
生田新道浜側中央KCBビルB1F
TEL 331-3575

Wine and something 珍地理屋
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

サロップ 神戸時代
生田区中山手通1丁目28
シャトウコトブキビル TEL 242-3567

スタンド くろ
神戸市生田区中山手通2丁目72
TEL 331-6985

洋酒の店 キヤンティ
神戸市生田区北長狭通2丁目3
TEL 391-3060・391-3010

スープとパン店 キャンティ北店
神戸市生田区下山手通3丁目8-9 TEL 331-3661

DRINK SNACK スネカリツ子
神戸市生田区下山手通2丁目
水晃ビルB1 TEL 391-8708

Stand&Snack サントノーレ
生田区下山手通2丁目トア・ロード
TEL 391-3822

Salon de roulette サントノーレ
パン・ド・ラ
ルーレット教室
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ6F TEL 241-1710-221-3886

実習洞でつさん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND マシュケナダ
生田区下山手通2丁目ちやいなタウン地下
TEL 331-5587

スナック GASTRO
神戸市生田区中山手通3-20
トアーマンション TEL 231-0723

バスチャーリントン
生田区北長狭通2丁目トアロード
TEL 332-1125

比奈古多
神戸市生田区北野町1丁目143
Tel. 241-1306

サロンアルバロス
生田区中山手通り1丁目24の7
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231)-3300

スナック エルソタノ
神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

スナック 山莊
神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823

スタンド 紋
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1レンガ筋
TEL 331-8858

スナック 興志務樂亭
神戸市生田区山本通2丁目60パールライフB1
TEL 242-1977

★KOBE PLAY GUIDE MAP★
神戸のうまいもん





balon antique series

XXX ろう人形

砂川 松枝

〈クチュール カセット
デザイナー〉

お店の商品の買い付けなどで海外に出かけることが多く、その度、気に入った品物や可愛いお人形などを見つけると航空便で送ってもらっています。

このろう人形はヨーロッパへ行った時にスペインで見つけたもの。大きさは3種類ありますが、どのお人形も顔の表情が同じで、背中に羽根をつけています。幸運のエンジェルなんでしょう。手には聖書を持っています。このお店でコーヒーを楽しんでいると、ドイツにいるような雰囲気が味わえますね。

センター街 バロンにて
カメラ／米田 定蔵



バルン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00～PM 9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00～PM 9:00迄

★コーヒーショップ センター街店
TEL 391-1375 AM10:00～PM 9:00迄

元町の味

元町別館牡丹園 ★

時雨茶屋



元町4丁目

★
みの幸



元町3丁目
52年
の伝統を誇る純日本料理のお店。
広い店内には、テーブル席、お座敷席
もあり、落着いた雰囲気でゆったりと
くつろいでいただけます。

御定食(松・竹・梅) 一五〇〇円より
幕の内 七五〇円より
たい茶漬 一五〇〇円より

★純日本料理

時雨茶屋
元町3丁目
331-0070



★京風料理
みの幸

元町4丁目
351-6288

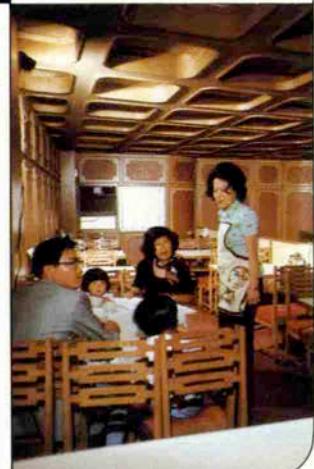
蒲焼
うなぎ丼
一二〇〇円

元町で京風料理が味わえる
店。季節料理も大へん豊富。
夏の「スタミナ料理」として「み
の幸」独自のうなぎ料理を始
めました。一度御賞味下さい。



★レストラン
元町フルーツホール
元町1番街
331-1987

エキゾチックなレンガ
造りの建て物。1、2階
共、店内は広いテーブル
席、お料理もお店のムード
もヨーロッパ調、コート
ダニヨンへ小羊の網焼き等本場の味をどうぞ。



★広東料理
元町別館牡丹園
元町1丁目
331-5790

二家
族づれに「生菜
包」「お酒やビールの肴
に」「炒鮮奶」等、本場
の広東料理の味が楽し
めます。1、2階テー
ブル席、3階はお座敷。
30名様までのご宴会も
お引受けいたします。





▲パレス塩屋1周年記念シーサイドパーティーより(1975.6.15)

夏。紺碧の海と汐風。そして本場のフランス料理を。

ヨットやモーターボートでもおこし頂ける

南仏風レストラン



* SEA SIDE CLUB
PALACE
SHIOYA

神戸市垂水区塩屋町字高尾179の6 シーサイドパレス塩屋内
(国鉄塩屋駅西400メートル) TEL 753-1373 (駐車場完備)

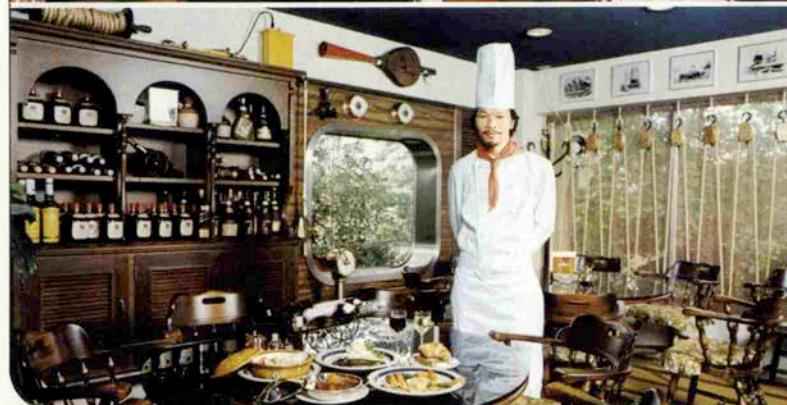
★メニュー

自家製パテ 400円、舌平目のムニエル 1,200円、骨つき仔牛の紙包み料理 1,400円、ニース風サラダ 700円、ディナー各種 2,000円、3,000円、5,000円、コーヒー 300円、グラスワイン 300円、カティサーク・ボトル 7,000円、ラングスコッチ・ボトル 5,000円

☆営業時間 11:00A.M.~11:00P.M. 7、8月は無休

GRILL & COFFEE ROOM *Compasses*

兵庫区二宮町3丁目12大西ビル2F
TEL 078-242-1236
加納町3丁目交差点東へ産業道路を
300m 浜側、大西バーキング前
営業時間／AM10:00～AM3:00



神戸 コンパス!! 港町ときたら

金田正一さん・談



店は新しいが、料理の味には古い歴史のようなものが感じとられる。なかでも木田チーフのつくるコンパス特製のビーフシチューなんて“ゲー”的なひとことにつきる。パーティ・商談などを船室（キャビン）ムードで味わえる神戸っ子がうらやましい。



ちくせんミュージックタイム
藤沢先生によるピアノの弾き語り ○ 6:00pm ~ 8:00pm ○ 0:00am ~ 2:00am
神戸のターフによる演歌熱唱 ○ 8:00pm ~ 0:00am

スナック ちくせん

神戸市生田区下山手通1丁目85(東門筋) 中島ビル4F

☎ 331-3131

近藤正実・岩本文夫





アーフ

生田区中山手通1丁目24-7

ダイワナイトプラザ2F

☎ 231-2000

牛山崎
ステーキハウス

生田区中山手通1丁目

前川ビル1F

☎ 391-3335



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

WOODHOUSE

山内ビル

☎ 241-7320

KOBE DRINKING GUIDE

クラブ

鈴

生田区中山手通1丁目111

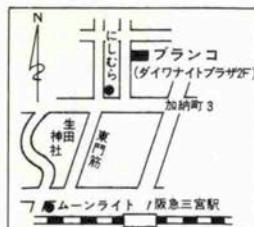
☎ 331-2403



☆春にオープンした“ブランコ”が初めての夏を迎えます。ママのとも子さんは夏バテも知らず毎日頑張っているのですが、夏は仲々日が暮れないでお客様の出足も遅くなりますねえ……といささかうらめしげ。だから、もし、あなたが開店早々にお店へ行けば大歓迎をしてもらえるのはまず間違いないでしょう。「値段を安くして、気軽に飲めるお店にしたい」というのがとも子さんのモットーですが、年配の人も若い人も静かにお酒が飲めて、気楽に語り合えるアットホームなお店なのです。

☆ボトル／カティーサーク￥9,000 オールド、G & G各￥7,000
水割／カティーサーク￥600 オールド、G & G各￥500、おじや￥600
他に軽食もあります。

5:30P.M. ~ 0:30A.M. 年中無休



ブランコ

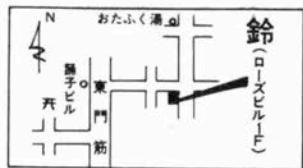
KOBE DRINKING GUIDE

ウッドハウス



ヤマサキ

スズ



☆本格的な夏の到来ですが、こんなときこそスタミナのつく食事をしたいものです。ステーキハウス“山崎”へいらっしゃいませんか。最上級の神戸肉と新鮮な生野菜は夏をのりきるエネルギー源。もちろん、その味は、こと味に関してはうるさい神戸っ子たちにも定評があります。それだけではありません。落ちていた雰囲気、それに、各種のワインも揃っていますので、ゆっくりとお食事を楽しんでいただけます。また、あらかじめ予約をしておきますと奥のボックス席が利用できますので30名ほどのパーティーには最適です。家族づれ、友人同士、グループなどの会合にぜひご利用下さい。

☆最上級神戸肉ステーキ￥5,000 サーロインステーキ￥3,000 テンダーロインステーキ￥3,000 車海老のバター焼き、アワビのバター焼き、ピール￥300 ボトル（O.L.D.）￥5,000 ボトル（ホワイトホース）、ボトル（カティーサーク）各￥7,000

5:00P.M. ~ 2:00A.M. 日曜日休み

☆“ア、暑い暑い” 夏の日にはつきもののことば。これを耳にすると何故かよけいに暑さを感じる。今年の夏、あなたが耳にするのは、“暑い”ってことを忘れさせるクールさと、ハッピーを混ぜたゴキゲンな演奏とさわやかドリンクとの出会い。夢を見てすごすにはちょっとおしい夏の夜、出かけてみたい“ウッドハウス”。

夏の風とともにあなたへ！ “ウッドハウス”から。

☆営業時間のお知らせ。平日／午前8時→午前4時30分、日曜／午後6時→午前12時、年中無休

コーヒー￥150 紅茶￥150 ピラフ￥250 サービスランチ￥300 ピル(小)￥300 水割り（オールド）￥400 フィズ￥500 おつまみ￥100

☆5:30P.M. ~ 0:00A.M. 日曜祭日休み